

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（（177増進堂 CⅡ719） FLEX English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
関係副詞や分詞構文などに加えて、語彙や表現など、用法や意味を理解している。また本書を通して学習する社会的、文化的な内容について、簡単な語句や文で示された内容の要点を捉えたり、自身の考えや意見を簡単な語句や文を使用して、発信したりする技能を身につけている。	社会的、文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして、内容の要点を捉えている。また、また、聞いたり読んだりして理解した内容を、学習した文法や表現、簡単な語句を用いて、聞き手や話し手、書き手を意識し、自身の考えや意見を伝え合ったり、事前に準備したものなど活用して発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとしている。	社会的、文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして、主体的に理解しようとしている。また、聞いたり読んだりして理解した内容を、主体的に英語を用いながら聞き手や話し手、書き手に配慮しようとしている。それに基づいて、自身の考えや意見を伝え合ったり、事前に準備したものなど活用して発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知】 受け身の不定詞、受け身の進行形に関する事項を理解している。 【思】 (L・R)「アニメ聖地巡礼」について理解できる。 (I・P・W) 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【主】 (L・R)「アニメ聖地巡礼」がどのようなものかを自ら理解しようとしている。 (I・P・W)「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち、積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等						●受け身の不定詞や受け身の進行形を的確に把握し、本文の内容を正確に理解できる。 ●本レッスンの英文本文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 ●写真や図、イラスト、またキーワードを用いて、ペアで考えを共有しながら本文内容に関わる発表ができる。 ●本文中で用いられた単語や熟語・表現を適切に用いて、本文内容に関わるテーマで文を書くことができる。				6
	定期考査								○	○		1
	C 単元 Lesson 2 【知】 助動詞＋完了形、受け身の完了形の用法や決まりに関する事項を理解している。 【思】 (L・R)「岩谷の特別な撮影方法」「岩谷の撮影が成功するまでの努力」の内容を理解できる。 (I・P・W) 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。 【主】 (L・R) 岩谷の特別な撮影方法や成功するまでの努力を自ら理解しようとしている。 (I・P・W) 本文から学んだ「夢を持つこと」と「夢を実現するまでの努力」について自分の意見を持ち、積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等						●助動詞＋完了形や受け身の完了形を的確に把握し、本文の内容を正確に理解できる。 ●本レッスンの英文本文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 ●本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 ●本文中で用いられた単語や熟語・表現を適切に用いて、本文内容をリテリングする文を書くことができる。				8
	定期考査								○	○		1

[illegible]